



# SUSTAINABILITY REPORT 2024

サステナビリティレポート

*thinkrun HD*





Our Purpose

# 世界の飲料ビジネスを 変える!

Changing the Beverage  
Business Worldwide!



## 当レポートの位置付け・役割

当レポートは、シンクラグループのSDGsに関する取り組みをまとめたものです。当社グループは、企業の社会的責任を果たすためのさまざまな取り組みを展開しており、当社グループを支えてくださるステークホルダー（利害関係者）の皆様（顧客、お取引先様、および地域社会）に私たちのサステナビリティの取り組みをお伝えするため、2019年からコミュニケーションツールとして「CSRレポート」・「SDGs&ビジネスレポート」を発行してきました。

昨年度からは持続可能な社会の実現に向けて、SDGsに積極的に取り組む姿勢をお伝えするため、「サステナビリティレポート」に名称を変更して発行すること

といたしました。

2015年に国連で採択され、世界中で取り組まれているSDGsに関して、シンクラグループの重点項目と関係性の高いSDGsの目標を定めて、事業を通じた社会課題の解決に取り組んでいきます。

## SDGsについて

SDGsは、2015年に国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals) のことで、社会、経済、環境といった世界的な社会課題の解決に向けた2030年時点における世界共通の目標です。2030年までに達成を目指す17の目標と169のターゲット（達成基準）から構成され、これらの目標達成のために、世界各国の政府のみならず、自治体、企業など、あらゆる組織・個人が協力して取り組むことが求められています。



## CONTENTS

- 01 当レポートの位置付け・編集方針 等
- 03 トップメッセージ

### SDGsへの取り組み

- 05 サステナビリティの取り組み全体像
- 06 運輸安全
- 09 労働安全衛生
- 10 健康経営
- 11 女性活躍
- 13 社員の働きがい
- 14 人権尊重・ダイバーシティ&インクルージョン
- 15 省資源
- 15 気候変動への取り組み
- 17 リスクマネジメント
- 18 コンプライアンス

### 事業内容

- 19 会社概要・グループ会社・役員・沿革
- 20 海外事業・国内事業・数字で見るシンクラ
- 21 販売物流・大型輸送
- 22 倉庫管理・営業事務・ベンディング・販売支援

### 編集方針

当レポートでは、シンクラグループが社会の一員として果たすべきSDGsに対する考え方や活動を報告しています。

### 報告対象範囲

シンクラグループのうち、主に株式会社シンクラホールディングス、株式会社シンクラ、株式会社TEAMS、株式会社ONE MISSION、株式会社ティーアールネットの活動を報告しています。

### 報告対象期間

2023年度（2023年1月～2023年12月）

### 発行時期

2024年3月

### 参考にしたガイドライン

「GRI サステナビリティ・レポート・スタンダード」

### レポートに関するお問い合わせ先

〒920-0057  
石川県金沢市桜田町1丁目1番地 株式会社シンクラ  
TEL.076-232-5111 / FAX.076-262-1555



# TOP MESSAGE

トップメッセージ



**サステナブルな社会の実現を追求し、  
社会的価値・経済的価値の向上を目指す。**

鶴賀 大輔  
DAISUKE TSURUGA

株式会社シンクランホールディングス  
代表取締役社長 兼 COO

シンクラングループの事業活動を支えてくださる国内外のお客様、お取引先様、地域の皆様をはじめ、当社を取り巻く全てのステークホルダーの方々に心より深く感謝申し上げます。

シンクラングループはパーパスとして「世界の飲料ビジネスを変える!」を掲げております。安全安心を最優先とした高品質なオペレーションに自信と誇りをもって、サステナブルな社会の実現を追求するとともに、ステークホルダーの皆様と常に意識を共有し、迅速に行動すること（行動指針：TEAM OF TEAMS）により、世界の飲料ビジネスを変えていきます。

事業活動を行う上で、「サステナブルな社会の実現」は企業の最重要課題と認識しております。シンクラングループは、社会環境や人々の価値観・ニーズの変化に対応すべく、成長戦略・オペレーションモデル・組織構造をブラッシュアップしつつ、社会との共存を意識した持続可能な事業を追求し続けることにより、社会的価値の向上と経済的価値の最大化の両立を目指しております。

国連が提唱する世界共通目標「SDGs」を踏まえ、当社では「社会」・「環境」・「リスクマネジメント / コンプライアンス経営」

の3つの観点から、「10の経営テーマ」をサステナビリティの最重要項目として掲げ、それらの経営テーマ毎にSDGsの定量目標を設定し、目標達成に向けた取り組みを実行しています。

「社会」の観点においては、当社の事業の根幹とも言うべき“運輸安全”や、従業員の“健康経営”、また誰もが動きやすい環境・風土の醸成としての“ダイバーシティ&インクルージョン”・“人権尊重”等、安全安心な事業活動を実現する基盤構築をテーマに取り組んでいます。「環境」の観点においては、世界中の課題である“省資源”と“気候変動への取り組み”をテーマとし、特に車両からのCO<sub>2</sub>排出量削減を大きな課題と捉えて、日々取り組んでいます。

シンクラングループは2021年に創業50周年を迎え、“100年企業”を目指して新たにスタートしております。これからも事業活動を通じて社会課題に取り組み、社会的責任を果たすことにより、ステークホルダーの皆様からの信頼を高め、社会的価値・経済的価値の向上を目指してまいります。本レポートで、私たちの社会的責任についての考え方と取り組みをご理解いただければ幸いです。

## 世界の飲料ビジネスを変える!

オペレーションエクセレンスを超えて、グレートに成長する

1. 社会的価値を高める
2. デジタルを活用しオペレーションソリューションを高める
3. 人的資本への投資





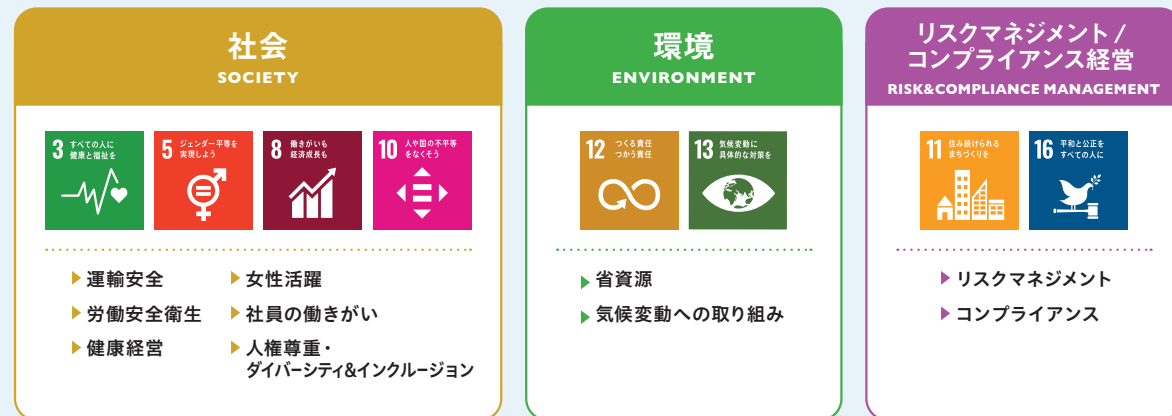
# SDGsへの取り組み

## シンクラングループの事業活動とSDGs

シンクラングループは、持株会社である株式会社シンクランホールディングスを中心に、各グループ会社が相互に関係性を持ち、協働してシナジー効果を発揮することで企業価値の向上を目指しています。

## サステナビリティの取り組み全体像

～10の経営テーマ～



当社グループは、事業を通じて社会的課題の解決を図り、持続的な成長を目指しています。活動にあたっては、事業内容や現状の課題等に基づき、社会的責任を定義付けした上で、「10の経営テーマ」を設定して取り組みを行っています。そして、各活動と親和性の高いSDGsを特定し取り組みを進めています。

## シンクラングループがSDGsに取り組む理由

昨今では、持続可能な社会への取り組みが企業価値を図る指標の一つになっています。2015年に国連サミットで採択されたSDGsは、社会、経済、環境といった世界的な社会課題の解決に向けた世界共通の目標です。この目標達成のためには、世界各国の政府、自治体、個人だけでなく、企業も事業活動を通

じて協力して取り組むことが求められています。当社グループでは、SDGsの目標を意識しながら事業活動を推進していくことが、ステークホルダーの皆様のお役に立ち、ひいては社会課題の解決につながると考えています。

# 01

Transport safety

## 運輸安全



私たちは、「安全はすべてに最優先する」をスローガンに、交通事故防止活動を推進します。トラックによる輸送を行う事業活動が、地球環境・地域社会に与える影響を正しく認識した上で、安全マネジメントを構築し、かつ継続的に改善することにより、交通事故防止を図ります。

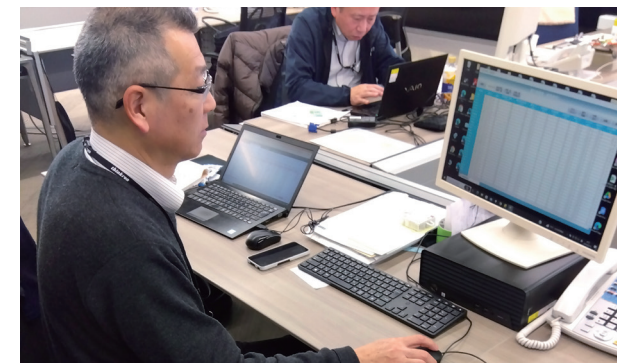
これらを推進するため、交通事故防止の目的・目標を設定し、定期的に見直すことにより、全従業員で交通事故防止に取り組みます。

指標 (何を)	目標値 (どのくらい)	期限 (いつまでに)
重大交通事故件数	ゼロ	2024年
交通事故件数	ゼロ	2024年

## 安全運転の推進

### シンクラングループの安全推進に特化するグループ会社“ONE MISSION”

シンクラングループでは“安全はすべてに最優先”して日々活動しており、安全推進に専門特化するグループ会社“株式会社 ONE MISSION”を2022年に立ち上げました。ONE MISSION社では「シンクラングループで事故によって不幸になる人をゼロにする!!」という考えの下、シンクラングループの安全運転の推進に取り組むとともに、交通安全に対して自発的に考えて行動する社員を育成しています。



### デジタコデータの分析・配信

交通安全、環境、車両の効率・資産管理等のレベルアップを図るべく、ドライブレコーダー機能付デジタルタコグラフ（以下、高機能デジタコ）を全ての車両に搭載しています。毎月、ドライバー毎にデジタコデータを分析・配信することにより、ドライバーに応じた安全運転の指導や、運転技術の向上に役立てています。



## 無事故・無違反者の表彰

1,500人を超えるドライバーの安全運転へのモチベーションを高め、交通事故の撲滅につなげるべく、無事故・無違反ドライバーを表彰する制度を設け、年1回表彰しています。1年間無事故・無違反者 679名と、無事故拠点の運行管理者 83名を表彰・賞賛し、労をねぎらいました。特に、15年間以上、無事故・無違反の優秀ドライバー 18名を対象に聖光寺にて表彰式とワークショップを開催し、日々の安全の取り組み・活動について情報共有・意見交換を行い、参加者全員が「安全」の大切さを再確認しました。



### 表彰対象

- 10年間 無事故・無違反ドライバー
- 5年間 無事故・無違反ドライバー
- 1年間 無事故ドライバー
- 1年間 無事故拠点 運行管理者



## Topics



### 蓼科山 聖光寺 ～シンクラングループの安全の象徴～

シンクラングループでは“安全はすべてに最優先”して活動しており、安全の象徴として長野県蓼科山聖光寺をお借りして、年間を通じて行事を行っています。

#### 2023年の聖光寺での安全行事

- 【1月】交通安全祈願
- 【4月】新入社員の安全研修
- 【6月】無事故無違反者表彰式・安全祈願

## コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社 主催 物流協会社 改善活動コンテストへの参加

顧客であるコカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社が、物流協会社との強固な推進体制を構築することを目的として、“2023年度 物流協会社 改善活動評価”を実施しました。シンクランは2023年に59件の改善提案を行い、生産性向上やコスト低減、環境改善等の効果が認められ、数十社の物流協会社の中で、2年連続でNo.1の評価をいただきました。今後も、顧客との最適なパートナーシップの確立を目指して、オペレーション品質向上や改善活動に努めてまいります。



## コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社 フォークリフト選手権への参加

顧客であるコカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社が、人の知識・技術に磨きをかけ変化に対応できる「最強のプロ集団」へ躍進することを目的として、“第6回 CCBJI フォークリフト選手権 2023”を開催しました。350拠点から選抜されたフォークリフトオペレーター 31名が技術を競い合い、物流協会社であるシンクランから従業員 2名が参加し、九反政樹さんが全国3位の好成績を収めました。

全国3位 九反 政樹さん(いわき営業所)



## 宮崎県警察本部 優秀安全運転事業所表彰

シンクランの宮崎営業所の4拠点(延岡RS・宮崎中央RS・都城RS・日南RS)が、宮崎県警察本部による優秀安全運転事業所表彰において、「金賞」を受賞しました。この賞は、事故件数や違反件数が少ない事業所に与えられるものです。当社宮崎営業所では全従業員の安全意識を向上させるべく、「一声運動(門立ち送り出し)」や「定例ミーティングでの情報共有」、「車両美化活動」に徹底的に取り組んでおり、金賞受賞につながりました。



## 安全運転技術・オペレーション品質の向上

### 全日本トラック協会主催 第55回 全国トラックドライバー・コンテストへの参加

全日本トラック協会が、安全意識の高揚と交通事故防止活動を推進することを目的として、2023年に“第55回全国トラックドライバー・コンテスト”を開催し、業務用トラックドライバーたちが高度な運転技術と専門的な知識を競い合いました。シンクラングループからはドライバー 13名が都道府県大会に参加し、石川県大会で優勝した佐賀野浩一さんが全国大会への出場を果たしました。



#### 2023年コンテスト結果

- ◆ 石川県大会4トン部門 優勝/佐賀野 浩一さん(ONE MISSION)
- ◆ 福島県大会4トン部門 2位/新田 祐治さん(郡山RS営業所)
- ◆ 大分県大会4トン部門 3位/園田 数馬さん(中津RS営業所)
- ◆ 熊本県大会4トン部門 3位/瀬尾 拓也さん(熊本中央RS営業所)
- ◆ 宮崎県大会4トン女性部門 特別賞/福山 美和子さん(都城RS営業所)

## 安全運転教育の実施

### 初任運転者教育の実施

法令に基づき、新入社員研修にてトラックの特性等について教育しています。2023年は11回の研修を実施し、162名が受講しました。

### 選任運転者登録前研修

新入社員が独り立ちする前に、現場管理者による20時間以上の同乗指導教育を実施しています。



# 02

Occupational health and safety

## 労働安全衛生



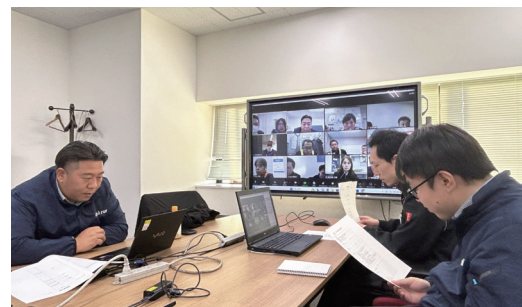
私たちは、「従業員の安全は経営の基盤である」という認識のもと、職場における従業員の安全を確保し、健全で活気ある職場環境づくりを推進します。安全においては、「不安全行動の排除」・「不安全状態の除去」という2つの視点から取り組みます。

指標 (何を)	目標値 (どのくらい)	期限 (いつまでに)
休業度数率	2%以下	2024 年
カート台車事故、フォークリフト事故 車両天井部からの落下事故	ゼロ	2024 年
熱中症発生者	ゼロ	2024 年

### 労働災害発生抑止

#### 安全衛生会議の開催

安全衛生管理活動を円滑に推進・強化することを目的として、全国の支店責任者も参加する安全衛生会議を毎月開催しています。会議では、従業員の安全と健康を維持・向上するための現状の問題点と対策を議論・検討し、実行できる運営体制としています。各職場では職場ミーティングにて職場の安全をテーマに、年間の活動や強化すべき取り組み内容の周知と徹底を図っており、職場で解決できないことは社員会を通じて経営トップにまで上げ対応する仕組みを構築しています。



#### 社内では「ご安全に!!」の声掛けを徹底

従業員の安全に対する意識を向上すべく、社内でのあいさつ時の声掛けを「ご安全に!!」とし、安全第一の組織風土の構築・浸透を図っています。また朝礼等で安全唱和を繰り返し実施することにより、安全意識の浸透・動機づけを継続しています。



#### 職場の安全自主点検の実施

安全な職場環境づくりと安全意識を高めることを目的に、繁忙期前の5月と繁忙期終了後の9月に職場の安全自主点検を行っています。

点検対象 車両、台車、保護具、サイト内交通路、フォークリフト等

# 03

Health management

## 健康経営



私たちは、「従業員の健康は経営の基盤である」という認識のもと、職場における従業員の健康を確保し、健全で活気ある職場環境づくりを推進します。健康管理は体だけではなく、心も含めた健康の保持・増進に努めます。

指標 (何を)	目標値 (どのくらい)	期限 (いつまでに)
健康診断受診率	100%	2025 年 3 月
二次検診 / 健康指導受診率	100%	2025 年 3 月
ストレスチェック受診率	100%	2025 年 3 月
過重労働者発生率	0%	2024 年
喫煙率	30% 以下	2024 年

### 健康診断の実施、二次検診受診の指導

対象の従業員に健康診断を年1回実施しており、二次検診が必要な従業員には受診の指導を行っています。また健診結果を正しく把握し、今後の健康管理に活用するため、専門家からの指導を受けております。2023年に健康管理システム“Growbase”を導入したことにより、従業員の健康データの一元管理が可能となる他、特定保健指導や再受診の提案等のフォローアップにも活用でき、今後さらなる従業員の健康維持・向上に努めます。



社内報に掲載された「ヘルスケア情報」

### 従業員に向けたヘルスケア情報の発信

従業員の健康意識の醸成と、健康の維持・向上をサポートする目的で、ヘルスケアに関する情報を週1回、社内WEBツールで発信するとともに、定期的に発行する社内情報誌“T-Magazine”でも発信しています。食や睡眠等の生活をテーマとしたアドバイスや、季節・気候に応じた健康法等を紹介することにより、従業員の健康増進に努めています。

### 従業員への健康対策品・熱中症対策品の配布

夏場における従業員・家族の健康対策の一環として、2023年6月に全従業員・家族を対象に健康をテーマとした商品を配布しました。また夏場の営業活動・オペレーションは熱中症のリスクが伴うため、夏場を迎える前に、全従業員に熱中症対策品として塩分補給品等を配付しています。





# 女性活躍



私たちは、「世界の飲料ビジネスを変える!」というパーパスのもと、女性が働きやすかつ長期的にキャリアを形成していける環境づくりと、女性従業員の能力が最大限に発揮できる機会を提供します。

指標 (何を)	目標値 (どのくらい)	期限 (いつまでに)
女性管理職比率	20%	2030年
従業員における女性比率	30%	2025年

## 社内トレーニングの女性ファシリテーター養成

2022年・2023年に管理職を対象に実施した“TEAM OF TEAMS グローバル研修”において、女性社員2名がファシリテーターを務めました。研修専任部門ではない部門の社員をファシリテーターとして起用するのは、シンクラングループとして初の試みです。また当研修のサポートメンバーも全て女性社員で構成しており、女性活躍を推進する上でも大きく前進する取り組みとなりました。



## 次世代の女性リーダーの育成

女性社員2名を選抜し、経営や組織等に関する知識習得・実践スキル向上を目的として、ビジネススクールへ派遣しています。また女性社員3名がビジネススクール主催の研修を受講し、専門性の高い講義や、他社から派遣された受講者とのグループディスカッションを通じて、“自分らしいリーダーシップ”を導き出しました。知識の習得や自己研究等を通じて、将来のシンクランの成長をけん引する次世代リーダーを育成しています。



## 女性活躍に関する社内での情報発信

全従業員に向けて、社内情報誌“T-Magazine”や社内WEBツールを通じて、女性従業員が働く様子や活躍する場面を積極的に紹介し、社内における女性活躍推進への理解度・関心度の向上に努めています。

## Topics 女性社員インタビュー

### 1 interview VM部門で初の管理職となり、次世代の女性従業員から憧れられる存在になりたい!

主に拠点運営のサポート、メンバーの教育、スケジュール作成、各種KPIの進捗管理を行い、目標達成に向けチーム運営をしていますが、メンバーが急遽休んだ時は私も代行でルートに出ることもあります!性別関係なく、和気あいあいとした雰囲気、メンバーと日々の出来事を話し、笑いの絶えない営業所です。特に新入社員を育てることにやりがいを感じ、教育部門にも携わってみたいと思っています。また、VM部門には女性管理職がいないので、私が初の管理職になって次世代の女性従業員から憧れられる存在になりたいです。

※ VM = ベンディング (自動販売機)



柳川 裕美さん (愛知VM支店 長島VM リーダー)

### 2 interview トラックドライバー・コンテスト出場や資格取得を目指して、さらなるスキルアップへ!

4t車両に乗り、スーパーマーケットやドラッグストア、一般店などのルート配送を担当しています。私の職場環境は風通しが良く明るい雰囲気「女性だから気を使われている」ということを感じず、とても働きやすいです。不安なことや、悩みがあれば相談に乗ってくれる先輩や、顔色を気に掛けてくれる上司がいるので安心して働けます。日々安全運転を心掛けることで高度な運転技術を身に付け、今後はトラックドライバー・コンテスト出場や、大型免許・運行管理の資格取得を目指し、自身のスキルアップを図りたいです。

※ RS = リテールサポート (販売物流)



本田 亜紀子さん (四国支店 香川営業所 高松RS)

### 3 interview リーダーとして女性でも長く活躍ができる職場づくりを目指しています。

メンバーが円滑に活動できるよう、お客様の販促情報をタイムリーに発信するとともに、メンバーの業務量を調整しながらお客様の要望にお応えしています。また、正社員・パートナー社員それぞれの教育を行いスキルの標準化を図っています。女性が多く、公私にわたり何でも言い合える明るい職場です。仕事に対しても常に意見交換を行い、お互いをリスペクトしながら前向きに活動できる雰囲気づくりを心掛けています。今後は、リーダーとして女性でも長く活躍ができる職場づくりを目指し、その為に必要な知識や幅広い視野を持つ、好奇心旺盛な女性でありたいです。

※ MD = マーチャンダイジング (販売支援)



横山 利江さん (北関東支店 栃木MD リーダー)

### 4 interview 今後は業務の幅を広げて、いまよりもっとチームの力になる!

私の日々の業務は、配車担当の補助、輸送費の照合、出荷作業の受付や伝票作成に加え、お取引輸送会社様と電話にてやり取りを行っています。職場では分からない事があれば、気兼ねなく質問でき、丁寧に教えていただけます。また、力が要る業務があれば皆さん快くサポートしてくれます。人員不足の時でも皆で協力合って「報・連・相」を大事にしている職場です。今後は、今の業務の枠にとらわれず、リフト免許を取得して、更にメンバーの力になりたいです。



瀬川 紫乃さん (輸送支店 大山輸送)



# 05

Employee job satisfaction

## 社員の働きがい



私たちは、「世界の飲料ビジネスを変える!」というパーパスのもと、人財育成・活用の促進と安全・安心な職場環境づくりを行うことで、従業員が生き生きと働き、誇りを感じる会社を目指します。

指標 (何を)	目標値 (どのくらい)	期限 (いつまでに)
時間外労働時間	対前年マイナス	2024 年
有給休暇取得率	対前年プラス	2024 年
研修受講率 (全従業員)	100%	2024 年

### ワークライフバランスの推進

#### 時間管理の推進

事業所および従業員それぞれに基準時間を設定しています。タイムマネジメント推進部門が、定期的に進捗状況を時間管理データとして事業所の管理者に配信し、従業員に応じて細やかな指導を行い、労働時間の平準化と時間創出へつなげています。2023 年はタイムマネジメント推進部門主導の下、“働き方改革プロジェクト”を立ち上げ、業務品質向上と生産性向上を両立する施策を追求・実行しました。

#### 在宅勤務・時差勤務の推奨

チーム力の強化に向け“face to face”に重きを置いていますが、業務上支障が出ないことを前提に、働き方改革の一環として管理間接部門を中心に在宅勤務(リモートワーク)および時差勤務を推奨し実施しています。

### 人財の開発

#### グローバル研修の実施

シンクランホールディングスはマクリスタル・グループと共同で研修プログラムを開発し、2022 年・2023 年には新しいリーダーシップモデル“TEAM OF TEAMS”の理解・浸透を目的とした“TEAM OF TEAMS グローバル研修”を管理職 170 名に対して実施しました。また 2023 年 10 月にはシンクラングループ社員 69 名が参加するシンクラン“グローバル リーダーシップ セミナー 2023”を開催し、ゲストスピーカーのマクリスタル・グループ CEO のスタンリー・マクリスタル氏と早稲田大学の村瀬俊朗准教授に「これからの時代におけるリーダーシップとチームワーク」をテーマに講演いただきました。マクリスタル・グループが手掛ける“TEAM OF TEAMS”は世界中の企業の組織改革等に貢献しており、シンクラングループは日本企業で初めて“TEAM OF TEAMS”を取り入れました。



#### 階層別研修の実施

階層別にテーマを設定した教育・研修を行っています。2023 年は管理者層・監督者層・一般職層でそれぞれ研修を実施し、延べ 724 名が受講しました。

# 06

Human rights / Diversity & Inclusion

## 人権尊重 ダイバーシティ&インクルージョン



私たちは、「世界の飲料ビジネスを変える!」というパーパスのもと、すべてのステークホルダーの人権を尊重し、従業員が生き生きと働き、誇りを感じる会社を目指します。

指標 (何を)	目標値 (どのくらい)	期限 (いつまでに)
障がい者雇用率	法定雇用率以上	2024 年
人権研修受講率	100% (管理者)	2024 年

### 人権意識の啓発

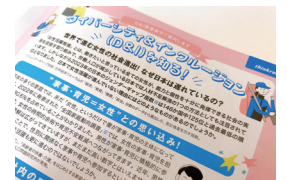
#### ハラスメント研修の実施

パワーハラスメント、セクシャルハラスメントの定義や、ハラスメントがもたらす悪影響、ハラスメントを防ぐための行動等を学ぶことを目的として、シンクラングループ管理監督者 220 名を対象として、講師の弁護士によるハラスメント研修を実施しました。

### ダイバーシティの推進

#### ダイバーシティ&インクルージョン 社内浸透に向けた情報発信

全従業員に向けて、社内情報誌“T-Magazine”や社内 WEB ツールを通じて、ダイバーシティ&インクルージョンに関する一般知識やグローバルレベルでの動向について、定期的に情報を発信することにより、社内におけるダイバーシティ&インクルージョンに対する認知度・理解度・関心度の向上に努めています。



#### 障がい者雇用

障がい者の雇用を重要な社会的責務と認識し、障がい者の就労の場を提供しています。2023 年末現在で、障がい者雇用率は 2.5% となっています。

### Topics



#### 支援機構理事長奨励賞を受賞

障がいのある方の職業や仕事、障がい者雇用に関する取り組みの理解促進を目的とし、毎年、独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構が「障がい者雇用支援月間ポスター原画コンテスト」を開催しています。2023 年はシンクラングループ従業員の山口祐典さんが、全国多数の応募の中から「独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長奨励賞」を受賞し、山口さんは 3 年連続の受賞となりました。



# 07

Resource saving

## 省資源



私たちは、「世界の飲料ビジネスを変える!」というパーパスのもと、地球環境保全、地域環境推進活動に積極的に取り組み、持続可能な社会の発展に貢献します。

指標 (何を)	目標値 (どのくらい)	期限 (いつまでに)
紙使用量	2%削減 (対 2023 年)	2024 年

### ペーパーレスの推進

総務・人事関係の業務を中心にペーパーレス化を進めています。総務関係では、インターネット FAX の導入・拡大を推進しており、紙・インク・電気の使用を削減するだけでなく、インターネット回線を使用することから、いつでもどこでも受発信できるため、業務の効率化にも寄与します。また、電子決裁システムの刷新に伴い、社内の各種申請手続きの電子化を拡大していきます。

人事関係では、人事管理システムの導入により、従業員の給与明細や年末調整等の提出書類はすべて電子化しています。その他にも、社内の研修・主要会議等ではハンドアウトの資料を使用しないことを徹底するなどしてペーパーレスの推進に取り組んでいます。



### トップランナー基準車の導入による燃費の向上

省エネ法に基づく燃費基準 (トップランナー基準) を満たした車両を積極的に導入しており、2023 年末現在で 1,317 台のトップランナー基準車を保有しています。燃費向上による使用燃料の削減を図ることで、温室効果ガス (CO<sub>2</sub>) の排出量を削減してまいります。

車両台数 (1.1トン以上) : 1,317台  
 トップランナー基準車 : 1,317台 (96%)  
 (2023年12月末現在)



### EVトラックの導入によるCO<sub>2</sub>排出量の削減

2023年9月より北陸支店にてEVトラックの稼働を開始しました。CO<sub>2</sub>や汚染物質を排出しないEVトラックの導入により、ゼロエミッション輸送の実現、騒音問題の解決などグリーン物流を具現化することで、地球環境保全に貢献することを目指しています。加えて、EVトラックは低振動であるためドライバーの負担軽減も期待できます。

# 08

Climate action

## 気候変動への取り組み



私たちは、「世界の飲料ビジネスを変える!」というパーパスのもと、地球環境保全、地域環境推進活動に積極的に取り組み、持続可能な社会の発展に貢献します。

指標 (何を)	目標値 (どのくらい)	期限 (いつまでに)
CO <sub>2</sub> 排出量	30%削減 (対 2015 年)	2030 年

### エコドライブの推進による燃費の向上

すべての車両に高機能デジタコを搭載し、ドライバーの運転データを分析することにより、安全運転の指導を徹底するとともに、エコドライブの指導に活用しています。エコドライブを推進することにより、燃費を向上させ使用燃料の削減を図り、温室効果ガス (CO<sub>2</sub>) の排出量削減につなげています。



### 混載配送事業の拡大による配送の効率化

複数のメーカーの製品を同一車両で小売店へ配送する混載配送事業の拡大に取り組んでおり、2023 年末時点で 22 都道府県にまで拡大しています。今後も複数メーカー製品の混載配送による配送効率の向上を推進することで、温室効果ガス (CO<sub>2</sub>) の排出量の削減を目指してまいります。



### 二室式二温度管理車両による配送効率化

常温商品とチルド商品など、異なる温度帯で管理・配送が必要な商品を、間仕切りによって 1 台の配送車で運ぶことのできる「二室式二温度管理車両」を保有・展開し、配送効率化を図っています。二室式二温度管理車両の活用により、温室効果ガス (CO<sub>2</sub>) の排出量の削減を目指してまいります。





# リスクマネジメント



私たちは、一人ひとりが様々なリスクに対して意識をもち、日頃からリスク予防・対応活動を着実に実行することにより、リスクの顕在化を防ぎ、発生してもスピードをモットーに損害を最小化し、顧客や地域社会から信頼される会社を目指します。

## ERM (全社的リスク管理体制) の推進

### ERMの実施

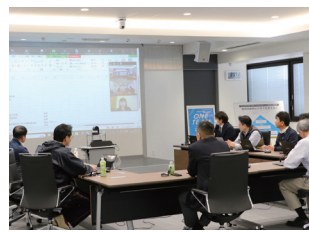
シンクラングループでは、経営の健全性確保と企業価値の向上を目的に、企業を取り巻く各種リスクを全社的視点で管理するERMの推進に取り組んでいます。ERM実施体制としては、社長をリスク管理の最高責任者(CRO)とし、リスク管理委員会にて

全社のリスク管理計画を策定し、運用状況を確認しています。車両運行管理・安全運転やオペレーション品質等について、全社の各部門が主体的にリスク対策を実行しています。

## リスク発生時の迅速な対応に向けて

### BCP (事業継続計画) の整備

シンクラングループでは、自然災害等の緊急事態に遭遇した場合に、損害を最小限に留めて事業を継続すべく、BCP(事業継続計画)を整備し、常に新しいリスクを想定して更新しています。今後は、拠点の責任者を含む管理者を対象に、リスク管理研修を行う等、緊急事態が発生した場合に迅速に対処・対応できるよう指導していきます。



## 情報セキュリティの取り組み

### 情報セキュリティ基本方針

適切な情報管理を行うため、すべての情報資産に対する機密性、完全性、可用性の維持・向上に努め、お取引先様を含む社会全体からの信用・信頼に応えられるよう、「情報セキュリティ基本方針」および「情報セキュリティ管理規程」を整備しています。

### 従業員の情報リテラシー向上

社内WEBツールを活用して、情報システムに関する案内を発信し、従業員の情報リテラシーの向上を図っています。最近のサイバー攻撃に関する手口や対応の注意点、アプリケーションソフトのアップデート情報の案内など、タイムリーに発信しています。



# コンプライアンス



私たちは、コンプライアンスを事業活動の要諦と位置づけ、あらゆる法令と企業倫理を遵守し、社会的責任の観点から良識・誠実さをもって行動します。また、コンプライアンスを推進するための仕組み・体制づくりをより強化します。

## コンプライアンス意識の醸成



### コンプライアンス研修の実施

従業員のコンプライアンス意識を高めることを目的に、コンプライアンス研修を実施しています。外部講師(弁護士)と社内法務担当から所属長に対して研修を行った後、研修を受けた所属長が自部門のメンバーに対して教育する方法でコンプライアンス研修を行っています。全従業員がコンプライアンスの知識を持ち、正しい行動がとれるようになることを目指しています。



### コンプライアンスに関する情報の発信

従業員のコンプライアンス意識の向上と社内浸透を図るべく、ハラスメント、人権、ダイバーシティなどに関するテーマを設定し、その内容を解説した「コンプライアンス便り」や「コンプライアンスポスター」を社内に発信・掲示しています。

## 社内自浄作用の向上

### 内部通報制度 (企業倫理ホットライン) の運用

業務上の法令・社内規程違反の未然防止と早期発見による是正を図るため、内部通報制度(企業倫理ホットライン)を設け、窓口を社内の担当部門と社外の顧問弁護士事務所の2箇所に設置しています。

## 業務の合法性・合理性の確保

### 内部監査の実施

拠点の監査においては、法令および社内規程等の諸基準への準拠性、管理の妥当性・有効性の検証等を行い、公正な立場で経営諸活動を評価し、助言・勧告・支援を実施しています。2023年は、34拠点44事業所を対象に監査を実施し、業務品質の向上につなげました。





## 会社概要 Company profile

名称	株式会社シンクランホールディングス	株式会社シンクラン
設立	2016年3月18日	1971年10月28日
決算期	12月	12月
資本金	1,000万円	1億円
代表者	代表取締役会長兼CEO 鶴賀 裕行 代表取締役社長兼COO 鶴賀 大輔	代表取締役社長 鶴賀 大輔
本社所在地	石川県金沢市桜田町1丁目1番地	石川県金沢市桜田町1丁目1番地
主な事業	グループにかかわる事業方針・戦略の立案および推進ならびにグループの業績管理	貨物自動車運送事業

## グループ会社 Group companies

<b>株式会社 TEAMS</b> 国内・海外における自動販売機事業 拡大支援等のグローバル事業	<b>株式会社 ONE MISSION</b> 安全運転推進支援事業	<b>株式会社 ティーアールネット</b> グループ内シェアード サービス事業	<b>株式会社 LEADERS</b> 人材開発に関するコンサル ティングおよび教育支援事業	<b>さわやかリテール サポート株式会社</b> 北陸エリアを中心とした清涼 飲料水販売オペレーション事業	<b>株式会社 ケーエルシー</b> ロジスティクス コンサルティング事業	<b>BEVPRO ASIA Co., Ltd.</b> タイでの清涼飲料水の 販売機器メンテナンス事業
--	---------------------------------------	---	--	---	---	--

## 役員 Board members

※ 2024年4月1日時点

### 株式会社シンクランホールディングス

代表取締役会長兼CEO 鶴賀 裕行  
代表取締役社長兼COO 鶴賀 大輔

取締役(非常勤) 滝澤 てつや  
取締役(非常勤) 石橋 達成  
監査役(非常勤) 鶴賀 紗世

### 株式会社シンクラン

代表取締役社長 鶴賀 大輔  
取締役 石田 貴英  
取締役 井上 充洋

監査役(非常勤) 鶴賀 美佐子  
監査役(非常勤) 五十嵐 光由

### 株式会社TEAMS

代表取締役社長 鶴賀 裕行  
取締役 鶴賀 大輔  
取締役 小島 竜也  
監査役(非常勤) 井上 充洋

### 株式会社ONE MISSION

代表取締役社長 鶴賀 裕行  
取締役 鶴賀 大輔  
監査役(非常勤) 井上 充洋

### 株式会社ティーアールネット

代表取締役社長 井上 充洋  
取締役 鶴賀 大輔  
取締役 鶴賀 裕行  
取締役(非常勤) 北 恵子  
監査役(非常勤) 田中 由利

### 株式会社LEADERS

代表取締役社長 鶴賀 裕行  
取締役 鶴賀 大輔  
監査役(非常勤) 井上 充洋

## 沿革 History

- 1971年(昭和46年) ● 北陸サービス株式会社設立
- 1974年(昭和49年) ● 北陸コカ・コーラ ボトリング株式会社と取引開始
- 1984年(昭和59年) ● 北陸サービス株式会社より分社、アトム運輸株式会社設立
- 1985年(昭和60年) ● 国内各コカ・コーラ ボトラー社と取引開始
- 2008年(平成20年) ● F&N Coca-Cola(シンガポール)と取引開始 以降、海外事業拡大
- 2015年(平成27年) ● アトム運輸株式会社から株式会社シンクランへ社名変更
- 2016年(平成28年) ● LOGISTICS ASIA社と共同出資で『BEVPRO ASIA Co., Ltd.』を設立
- 2017年(平成29年) ● CQベンチャーズ株式会社と共同出資で『株式会社TEAMS』設立(2019年に100%子会社化)
- 2019年(平成31年) ● 人材派遣事業会社『株式会社ONE MISSION』設立
- 2021年(令和3年) ● 『株式会社シンクランホールディングス』を稼働し、持株会社体制に移行。創業50周年を迎える
- 2022年(令和4年) ● 人材派遣事業会社『株式会社ONE MISSION』を株式会社シンクランに吸収合併し、新たに安全運転推進支援事業会社『株式会社ONE MISSION』を新設
- 2024年(令和6年) ● 人材開発関連の事業会社『株式会社LEADERS』設立



## 海外事業 Overseas business

国内で培ってきた知識と技術を活かし、アジアを中心に、顧客のニーズに合わせたサービスを提供しています。販売機器の調達・メンテナンス・設置・オペレーション設計、人材育成、さらには販売支援に及びます。また戦略的BPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)として、現地の顧客と共同で飲料業界のサプライチェーン全体を競争力のある仕組みへと変革しています。

### 海外における自動販売機事業拡大支援等のグローバル事業

グローバルの飲料市場での顧客の成長支援を目指し、飲料自動販売機の販売・メンテナンス事業からスタートし、現在は自動販売機ビジネスにおけるコンサルティング・導入・運用までトータルサポートを行っています。



### タイでの清涼飲料水の販売機器メンテナンス事業

2016年2月、タイでの販売機器メンテナンスとフィールドサービスの展開・拡大を目的として、シンクランと現地タイのコカ・コーラ ボトラー社であるThaiNamthipのグループ会社と共同出資により、合併企業「BEVPRO ASIA Co., Ltd.」を設立し

ました。現在は業務用冷蔵機器や暖房機器まで、幅広くメンテナンスを行っています。3ヶ所のメンテナンス工場の他、タイ全土78都県の内63県とバンコク都で12のサービス拠点を構え、訪問修理及び保守点検業務を353名体制で行っています。

## 国内事業 Domestic business

お取引先様の製造工場からお客様に商品をお届けするまでの様々な物流機能におけるオペレーションを通じて、最適なサプライチェーンの構築に貢献します。原材料・資材の輸送から店舗での販売支援に至るまでの一貫した業務領域での高品質のサービス提供により、お取引先様の様々な物流へのニーズにお応えいたします。



## 数字で見るシンクラン At a glance

エリアカバー率(国内)  
1都 1道 2府 34県 **81%**

従業員(グループ計)  
**3,434名**

拠点数(国内)  
**137拠点**

総車両保有台数  
**1,448台**





事業所数  
**96事業所**

車両台数  
**824台**

当社は中・小型車両を使った販売配送を得意とし、スーパーやドラッグストアのようなチェーンストア、酒店、個人商店、飲食店など様々な販売店へ商品を配送します。また、冷蔵、冷凍商品といった温度管理が必要な配送も可能です。取引先では納品時での商品の先入れ先出し、納品伝票・帳票などの取扱い、商品代金回収も行っています。

主な業務



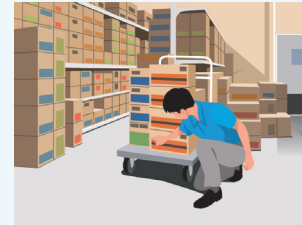
小売り店への配送

得意先へ直接、配送を行っています。主な得意先はスーパー、ドラッグストア、ディスカウントストア、酒店、個人商店、飲食店などで、得意先の規模、道路事情などに応じて車両を選択し配送を行っています。



伝票確認 / 検品

納品先と伝票の宛名が一致しているかを確認し、伝票枚数、納品日付、集金形態、納品数、品目数を確認します。納品時に得意先担当者さま立会いの下、伝票と商品を指さし確認して、確実な検品を実施します。



先入れ先出し

得意先での商品の納品では先入れ先出しを徹底しています。日付の新しい商品が先に販売されることのないように心掛け、消費者のみなさまへ安全・安心な商品をお届けすることを常に心がけています。



商品代金の取り扱い

顧客の得意先で商品代金の回収を行っています。帰着後に精算業務を行い、商品の納品数と売上高とを照合し、違算がないかを毎日確認します。

事業所数  
**54事業所**

大型車両台数  
**274台**

輸送パートナー  
**190社**



様々な貨物に対応した車両ラインナップで輸送に関するニーズに対応できる体制としています。自社保有の車両に加え、国内190社の輸送協力会社と連携し全国広域エリアをカバーできる輸送体制で、日々1,000台以上の車両を稼働させており、多様化するニーズにも対応できる物流ネットワークの提供も可能です。



倉庫管理ではお取引先様の倉庫での製品保管、荷役、管理に関する業務を行います。清涼飲料の倉庫では1,000品種を超える商品管理を実施しており、季節により大きく変化する品種や在庫量に応じてレイアウトの見直しを常に行い、出荷能力をいかに高めるかということ念頭に、製品配置や構内での動線の最適化を図っています。

物流倉庫  
**74事業所**



営業事務とはお取引先様から預かる商品の管理と販売に関わる業務全般のことをいいます。製品の出入荷状況、それに付随する備品や資産の管理から、販売に関わる伝票や帳票類の作成、売上や各種データのパソコン入力、各種請求支払いなどの業務を行います。

事業所数  
**28事業所**



事業所数  
**41事業所**

車両台数  
**350台**

全国1府13県においてコカ・コーラ ボトラーの5万台を超える自動販売機の実運用を担っており、国内最大規模のオペレーターであると認識しています。商品の自動販売機への補充、売上金の管理、自動販売機内商品の品質管理、自動販売機のメンテナンス等、自動販売機に関する業務全般を行っています。



店頭でのマーチャンダイジング活動により商品の売り上げ促進を図ります。店舗の大きさや売場の環境、来店されるお客様の状況を考慮し効果的に商品を陳列します。POPなどの販促資材の有効的な活用や、お客様の動線を意識した催事場の設営などにより、客数と客単価アップを実現する売り場づくりを目指します。また、受注業務・販促活動のサポート・商品の品質チェックなど、一連の商流活動を一括してお取引先様のニーズに合わせて対応することも可能です。



# thinkrun HD

## ▶ アンケートのお願い

今後のサステナビリティへの取り組みや、レポート制作の参考にさせていただくため、アンケートを実施しています。皆様のご感想やご意見などをお聞かせください。下記の URL または QR コードよりアクセスしてください。

<https://forms.gle/4ztqUV53mat6wxDz9>



## ▶ このレポートは、環境等に配慮した制作・印刷方法を採用しています。



このレポートは、FSC® 認証紙を使用しています。



この製品は、VOC 含有率 1% 未満の環境負荷の低い VOC FREE インキを使用しています。